

中区地域計画 2026→2030

～共感と協働で現代から次世代へ～

令和8（2026）年3月

堺市中区

目次

第1章 中区地域計画について

- 1. 策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
- 2. 中区地域計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 3. 構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 4. 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2

第2章 中区のいま

- 1. 中区のすがた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
- 2. 数字で見る中区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P5
- 3. 前計画の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6

第3章 中区のめざす将来像

- 1. めざす将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11
- 2. 区政運営の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・ P11

第4章 めざす将来像を構成する要素

- 1. 3つの基本要素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
- 2. 7つの分野別要素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
- 3. KPI（重要業績評価指標）・・・・・・・・・・・・ P12
 - 将来像実現のための重点事業・・・・・・・・・・・・ P13
 - 子育て・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P15
 - 福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P16
 - 安全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P17
 - 環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P18
 - 歴史文化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P19
 - 健康・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P20
 - 交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P21

分野別要素

第5章 推進体制

- 1. 実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P22
- 2. 管理体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P23

参考資料

- 1. 用語解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P24
 - 2. SDGsのゴール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P25
 - 3. 策定経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P25
-

第1章：中区地域計画について

1. 策定の趣旨

■ 中区地域計画 2021→2025

中区では、令和3（2021）年3月に「中区地域計画2021→2025」（以下「前計画」という。）を策定し、中区のめざす将来像に「～みんなが安心を感じ、魅力をつなぎ、活力を生む～成長の歩みを止めない中区」を掲げ、将来像実現に向けて、安心、魅力、活力など様々な分野の取組を進めてきました。

特に、将来像実現をけん引する先行的取組の「（仮称）深井駅周辺地域活性化プロジェクト」は、深井駅周辺地域活性化事業基本構想を令和4（2022）年7月に策定の上で、中区の新たなシンボルとなる水賀池公園の整備を令和7（2025）年1月に工事着手し、令和9（2027）年度の施設の完成に向け、着実に取組を進めています。

■ 社会情勢・中区政の変化

前計画策定時から中区の人口は、令和7（2025）年度時点において想定していたよりも減少しており、更に高齢化の加速が予想されます。

また、令和6（2024）年1月の能登半島地震や同年8月の南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表、全国各地で線状降水帯による大雨の被害など、頻発化・甚大化する自然災害への備えや、高齢者を狙った特殊詐欺等による被害の急増への対策を強化することが必要です。

さらに、幅広い年代のSNS利用が増加しているため、SNSを活用した情報発信も重要です。令和2（2020）年から流行した新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び5類感染症への移行は区民の生活に大きな影響を及ぼし、人々の価値観や行動、生活様式が変化し、ニーズが多様化しています。

加えて、社会的孤立、こどもの貧困、ひきこもりの長期高齢化といった複雑化・複合化した課題が顕在化し、一つの機関では対応することが困難な事例が増えているため、属性や課題にかかわらず相談を受け止める包括的な支援体制の構築が求められています。

なお、令和4（2022）年11月に発生した中区生活保護受給者の方が暴行死された事案について、決して風化させることなく二度とこのようなことのないよう取り組んでいます。

これらを踏まえ、様々な課題に柔軟・的確に対応できる持続可能な区政の推進が求められます。

■ 中区地域計画 2026→2030の策定

前計画の策定から5年が経過し計画期間が終了することから、前計画の各施策のKPI（重要業績評価指標）の評価を行った上で、社会情勢・中区政の変化を踏まえ、10年後を見据えた中区の将来像や令和12（2030）年までの今後5年間の区政運営の方向性等を取りまとめた「中区地域計画2026→2030」を策定します。

中区が持続的に成長し、中区に暮らす人たちが安心して暮らし続けることができるよう、中区に暮らす人たちが地域活動の担い手、民間事業者、行政等の多様な主体が本計画を共有し、その実現に向けて取組を推進します。

2. 中区地域計画の位置づけ

本計画は、中区の特色や独自性を踏まえて策定します。

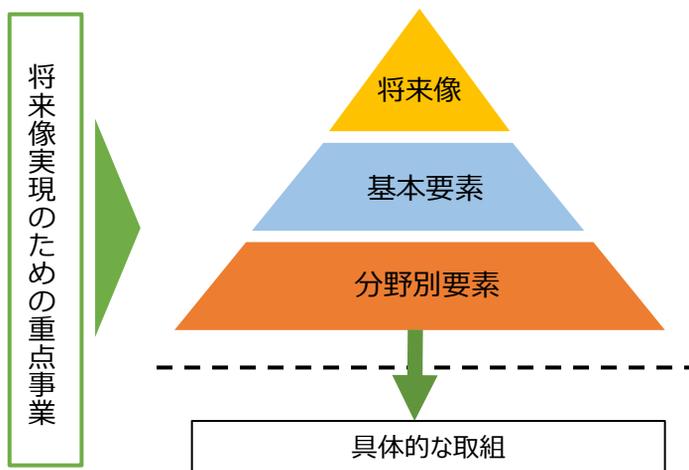
「堺市基本計画2030」を上位計画とし、「堺市SDGs未来都市計画」、「堺市都市計画マスタープラン」や「区役所と本庁のあり方基本方針」などの計画等と整合を図ります。

3. 構成

中区のめざす将来像を構成する基本要素や分野別要素と、将来像実現のための重点事業を下図で示します。また、それぞれの要素に関連する個々の具体的な取組については、毎年度「中区アクションプランリスト」を作成し、取組状況を評価します。

なお、本計画では、深井駅周辺地域活性化事業を「将来像実現のための重点事業」として新たに位置づけ、水賀池公園の機能強化と地域資源を活かした取組の連携により、深井駅周辺地域を活性化し、その効果の中区全体へ波及させるように取り組みます。

【構成イメージ図】



4. 計画期間

本計画の計画期間は、令和8（2026）年度～令和12（2030）年度とします。

【計画期間のイメージ図】



第2章：中区のいま

1. 中区のすがた

中区は、南海電鉄泉北線深井駅を中心に住宅市街地が広がり、陶器川や阿弥陀池などの多様な水辺空間に恵まれ、中南部には良好な田園風景が見られます。交通網では東西に阪和自動車道、南北に泉北1号線（府道堺狭山線）が走り、堺市のほぼ中央に位置し、交通の便に優れています。

また、中区には、仏教の教えを広め民衆に寄り添いながら、寺院の建立やインフラ整備を通じて人々の生活向上に尽力した行基の足跡が多く残っています。さらに、行基が建立した土塔（国指定史跡）をはじめとする貴重な歴史資源や注染（浪華本染め）・和晒の伝統産業が受け継がれているなど、魅力あふれる地域です。

■ 面積 17.88km² ■ 人口 115,745人 ■ 世帯数 51,501世帯

(資料) 推計人口(暫定値) (令和8(2026)年2月時点)



① 教育文化センター（ソフィア・堺）
（中区深井清水町1426）



傾斜ドームの宇宙型プラネタリウムや府内最大級の口径60cmの望遠鏡を備えた天文台を有しています。

② 平和と人権資料館
（中区深井清水町1426 教育文化センター内）



戦争の悲惨さ、平和の尊さ、人権の大切さ、そして互いの人権や地球環境を守ることの大切さを訴え、次世代に伝える施設です。

③ 中図書館
（中区深井清水町1426）



ソフィア・堺内にあり、教育・技術・工学・言語関係の資料を多く収集しています。

④ 中図書館東百舌鳥分館
（中区土塔町2363-23 東百舌鳥公民館内）



東百舌鳥公民館内にあり、地域の身近な図書館として利用されています。

⑤ 土塔（国指定史跡）
（中区土塔町2143-1）



堺出身の僧、行基が築いた十三重の仏塔である土塔は、国指定史跡です。令和9（2027）年に創建1300年を迎えます。

⑥ 注染（浪華本染め）・和晒



石津川流域の毛穴地域には、注染（浪華本染め）・和晒の工場が集積し、伝統の技術が受け継がれています。注染（浪華本染め）は国の伝統的工芸品に指定されています。

⑦ 原池公園
（中区八田寺町320）

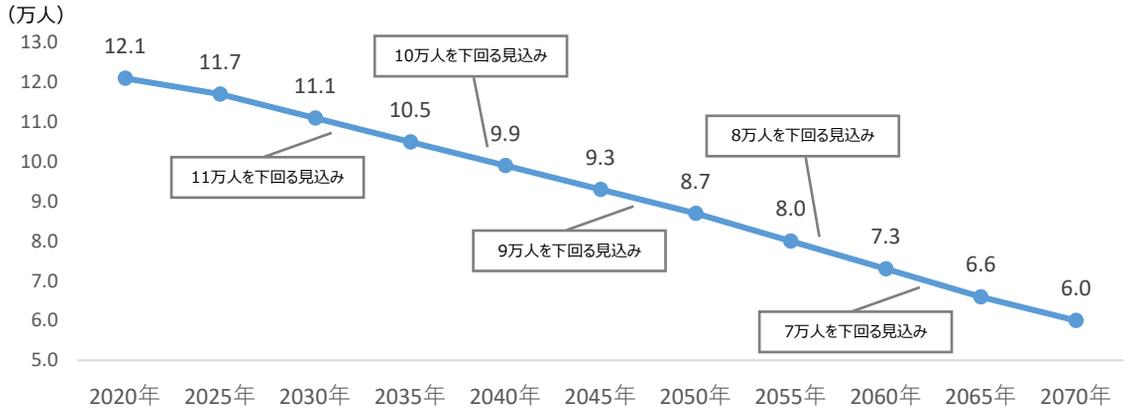


子どもに人気の大型遊具や西日本最大級のコンクリートスケートパークを有しています。原池公園野球場は、大阪府南部では最大規模となる5,000人収容の本格的な野球場です。

2. 数字で見る中区

■ 中区の人口

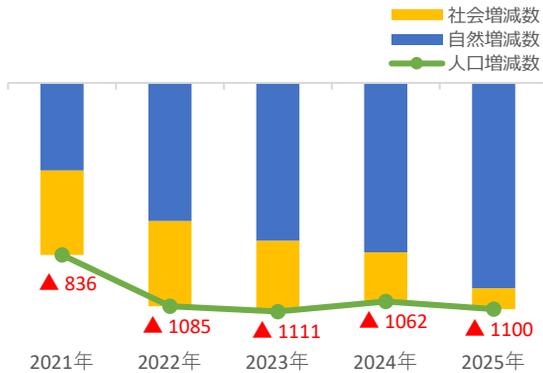
区の人口は、約**11.6万人**（令和8（2026）年2月時点）。全国的な傾向と同じく今後減少する傾向にあり、令和22（2040）年には10万人を下回る見込みです。



（資料）2020年は総務省「国勢調査」（2020）、2025年以降の将来推計人口は堺市推計

■ 中区の人口動態（自然増減・社会増減）

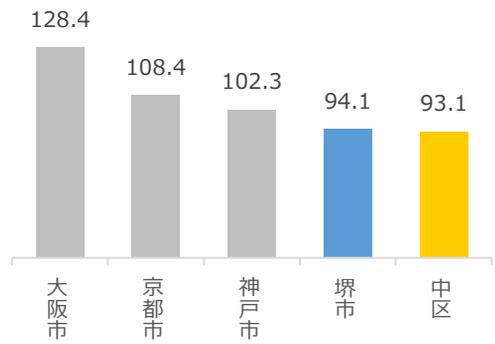
人口動態の内訳では、自然減と社会減の状態がともに続いています。



（資料）総務省「住民基本台帳（外国人含む）」

■ 昼夜間人口比率

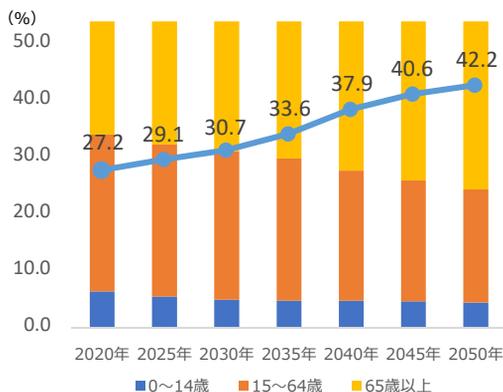
区の昼夜間人口比率は約**93.1%**で、堺市全体の数値よりも低くなっています。



（資料）総務省「国勢調査」（2020）

■ 年代別人口割合と高齢化率

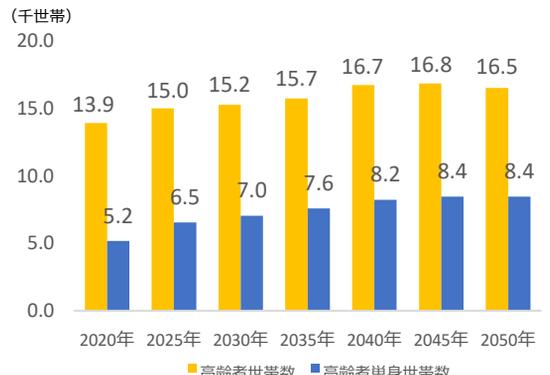
区の高齢化率は約**29.1%**で、今後高齢化が加速する見込みです。



（資料）2020年は総務省「国勢調査」（2020）、2025年以降の将来推計人口は堺市推計

■ 高齢者世帯数・高齢者単身世帯数

高齢者世帯数及び高齢者単身世帯数は増加傾向で、令和27（2045）年には高齢者世帯の半分を高齢者単身世帯が占める見込みです。



（資料）2020年は総務省「国勢調査」（2020）、2025年以降の将来推計人口は堺市推計

3. 前計画の評価

前計画において分野別要素ごとに設定していたKPI（重要業績評価指標）の進捗状況や、主な事業の取組状況、中区区民アンケート等を踏まえて評価を行いました。

なお、各年度のKPIの進捗状況は10ページに示しています。

■ 子育て

- ・子育て世代への支援につながる各種取組を実施し、子育て環境の整備やこどもの健やかな学び・育ちの確保を推進しました。主な取組として、子育て家庭が子育ての不安や悩みを一人で抱え込み孤立することなく、安心して子育てができるような地域をめざすため、子育て家庭同士が交流し、子育て支援課に相談できる関係を作ることができるよう子育て講座や交流会を開催しました。また、学校に行きづらい子どもたちが安心して過ごせる場所として区役所内に「中区役所こどもの居場所」を設置しました。
- ・子育てに関するKPIは前計画策定時より2.2ポイント減少していますが、そのうち中学生までのこどもがいる子育て家庭についてみると、中区全体と比較して10ポイント程度高く、これまでに実施した子育て講座や交流会の参加者アンケートでも満足度の高さが確認されています。一方で、本市のこども・子育て支援に関する調査結果では、子育ての環境整備や費用援助と合わせて、相談体制の充実や子育て関係の情報提供、交流の場の充実を望む意見もあり、また、中区区民アンケートの結果では、区の課題として「子育て支援」と回答している割合が高くなっています。講座や交流会参加者の満足度は高いものの、子育て支援を課題とする意見がある現状は、子育て支援に関する情報がその情報を必要としている方に的確に行き届いていないことや、現在子育て家庭ではない方に中区の子育て支援の取組が知られていないことが要因として考えられます。
- ・今後は区が行う事業の実施に加え、情報を必要としている方への適時適切な発信や、現在子育て家庭ではない方へも広く知っていただく情報発信を推進します。

■ 福祉

- ・すべての人がいつまでも住み慣れた地域社会で自分らしく暮らすため、各種取組を実施し、高齢者・障害者福祉の充実やセーフティネットの保障と自立支援を推進しました。主な取組として、地域や関係機関との連携を深めるため、区高齢者支援ネットワーク会議の開催や、障害のある人への理解と啓発を目的として作業所交流イベント（ナカ・ナカマ♡ネットワーク）を開催しました。また、生活困窮者に対する相談・支援を適時実施し、必要に応じて生活保護の適用を行うなど自立支援に係る取組を行いました。
- ・福祉に関するKPIは令和4（2022）年度において調査した結果（最新値）が計画策定時の数値を下回っていますが、いずれも80%を超えており、高止まりによる数値の伸び悩みが考えられます。また、現在実施している各種取組が「かかりつけの医師を持つこと」に直接つながっていないことも要因として考えられます。一方で中区区民アンケートの結果では区民が感じる中区の課題として「高齢者や障害のある方に対する相談支援」と回答している割合が高い状況であり、相談体制の充実が求められています。
- ・今後、相談体制の充実の観点を踏まえ、高齢者・障害者福祉の充実やセーフティネットの保障と自立支援に向けた取組を推進します。

■ 安全

- ・区民が自らの生活の基盤に安心感を抱くことができるよう、災害に強く、犯罪等が起こりにくい環境整備を進めるため、地域防災力の向上や犯罪や事故のない暮らしの実現に向けた各種取組を推進しました。主な取組として、各校区で実施される自主防災訓練や、必要な資機材整備の支援を行いました。また、区民の防犯意識の向上を図るため、警察署や関係機関と連携した啓発活動の実施や、防犯カメラ及び防犯灯の整備を推進しました。
- ・防災に関するKPIでは、前計画策定時より6.4ポイント上昇しました。校区単位で取り組む自主防災訓練に対する支援等により、地域での防災意識が向上していることが理由の一つであると考えられます。中区区民アンケートの結果においても、区民が感じる中区の魅力として「災害に対する安心感」と回答している割合が高く、その回答者の内訳としては、自治会加入者の割合が高い状況でした。自治会加入者は自主防災訓練等の取組や防災に関する情報などに接する機会が多いため、「災害に対する安心感」を中区の魅力と感じる区民が多いと考えられます。そのため、自治会に加入していない区民にも自主防災訓練等の防災に関する地域の取組が伝わるような情報発信が必要です。次に防犯に関するKPIでは、令和3（2021）年度に一時的に上昇した場合を除き、50%未満の割合で推移しています。KPIに記載の「治安に関する不安」については、警察や行政、地域による取組状況に加え、犯罪情勢も影響を及ぼす要因の一つと考えられます。近年では、特殊詐欺や車上狙いといった生活に身近な犯罪が増加しており、こうした傾向が区民に「治安が悪化している」との印象を与えていると考えられます。中区区民アンケートの結果では区民が感じる中区の課題として「治安」と回答している割合が最も高く、治安向上に向けた取組の推進が必要です。
- ・今後、自主防災訓練などの防災に関する情報のより一層の周知啓発や、警察等との連携を一層強化し犯罪が起こりにくい安全で安心な地域社会の実現に向けた取組を推進します。

■ 環境

- ・中区の有する緑あふれる自然環境を守り次世代へ引き継ぐために各種取組を実施し、緑あふれる清潔な街並みの維持や省エネルギー化・省資源化の推進による循環型地域社会の実現を推進しました。主な取組として、ボランティアグループ花輪が育てた花苗の地域への配付や不法投棄未然防止パトロールを行いました。また、大阪公立大学の学生が作成した省資源化に関するパネル展示や、区役所におけるペーパーレスの推進、ごみの減量・リサイクルを行いました。
- ・街並みの美しさに関するKPIでは、前計画策定時から12.5ポイント上昇しており、これまでの継続した取組が寄与していると考えられます。次にごみの減量リサイクルに関するKPIでは、前計画策定時から7ポイント上昇しており、区役所で行う周知啓発の取組が寄与していると考えられます。
- ・今後、緑あふれる清潔な街並みの維持に向けた取組や、ごみの減量・リサイクルを含む環境問題に関する周知啓発に係る取組を引き続き推進します。

■ 歴史文化

- ・中区の伝統産業や歴史的施設などの貴重な地域資源の素晴らしさを広め次世代へ引き継ぐために各種取組を実施し、歴史的な魅力の再発見や文化・芸術活動の振興を推進しました。主な取組として、区役所で注染製品の展示や販売、雪花絞り染め体験の開催や、行基が建立した土塔については令和9（2027）年に迎える創建1300年に向けての魅力発信を行うウォーキングイベントや特別講演を行いました。また、文化に親しみ文化を大切にする地域社会の実現を目的とした中区文化のつどいの開催や、中区まちなかギャラリー事業の実施、ひるどきコンサートを開催しました。
- ・歴史文化に関するKPIでは、前計画策定時より12.2ポイント上昇しており、これまでの魅力発信の取組が寄与していると考えられます。次に、文化芸術に関するKPIでは、いずれの年度も40%を下回る数値で推移しています。数値の向上に向けては、区が行う取組の推進はもとより、既存のイベントや文化的資源の魅力発信を一層行うなど区民へ情報を届けることが必要です。中区区民アンケートの結果では、区民が感じる中区の魅力と課題ともに、「歴史文化」、「文化・芸術活動のしやすさ」を回答している割合が低く、関心が持てるような取組や魅力発信が必要です。
- ・今後、中区の魅力発信に係る更なる充実を図り、本庁部局とも連携の上で、取組を推進します。

■ 健康

- ・すべての人が健康でいきいきと暮らすための各種取組を実施し、それぞれに合った健康増進習慣の確立や健康を支える地域社会の構築を推進しました。主な取組として、健康増進に関する情報提供や、中区区民フェスタ内で肺がん・結核検診や、日曜日に乳がん・子宮頸がん検診を開催しました。また、生活習慣病予防等を目的とした講座の開催や、自主活動グループの活動支援を行いました。
- ・体調管理に関するKPIでは、前計画策定時より5ポイント上昇しました。次に、身近な相談に関するKPIでは、前計画策定時より14.5ポイント上昇しました。これらKPIの向上には、これまでに実施してきた取組が寄与していると考えられます。中区区民アンケートの結果では、中区の将来に期待するものとして「住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らし続けられる」を回答している割合が高く、安心して心豊かに暮らし続けるためには「健康」であり続けることも重要な要素であると考えられることから、本分野での取組を着実に進めることが大切です。
- ・今後、区民が健康増進に取り組むことができるよう、健康増進や生活習慣の改善に向けた取組の支援や健康を支える環境の整備を推進します。

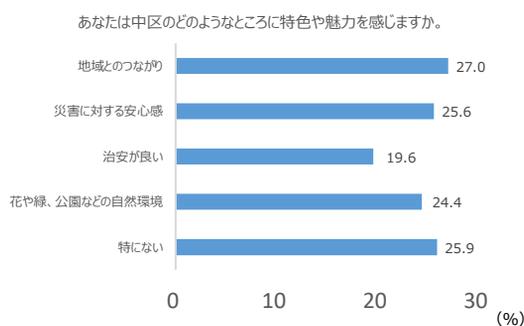
■ 交流

- ・中区をより活気あふれた地域にするために各種取組を実施し、地域課題解決力の強化や区民間交流を推進しました。主な取組として、地域と連携・協働した中区区民フェスタの開催や、区の政策に関する事項について意見聴取を行う中区政策会議を開催しました。
- ・交流に関するKPIは前計画策定時よりもわずかな上昇に留まっています。一方、中区区民アンケートの結果では、区民が感じる中区の魅力として「地域とのつながり」と回答している割合が高いことから、アンケート回答者の地域交流に関する意識の高さが推察されます。これらの結果を踏まえ、中区区民アンケートに回答した区民のみならず、地域活動の活発さをより多くの区民に感じていただくための取組が必要です。
- ・今後、様々な事業を実施する際には、より多くの方に地域活動の魅力が伝わるように、情報を受け取る方に応じた情報発信を適時適切に行い、広く区民の交流を促進する取組を推進します。

【参考】中区役所「中区区民アンケート」（令和7（2025）年）の回答結果 上位抜粋

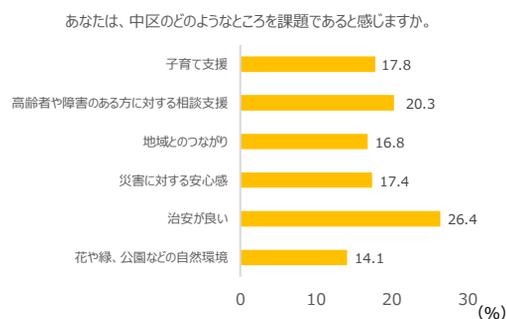
■ 区民が感じる中区の魅力

「中区の魅力」を問う設問では、「地域とのつながり」が中区の魅力であると感じている区民の割合が最も高く、27.0%です。



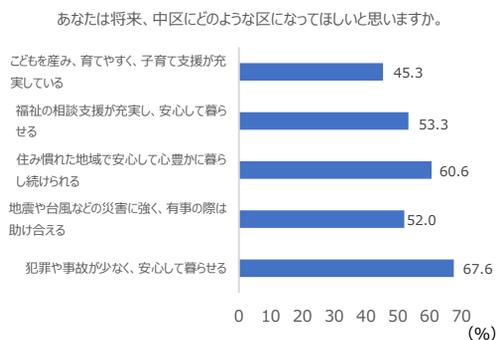
■ 区民が感じる中区の課題

「中区の課題」を問う設問では、「治安」が中区の課題であると感じている区民の割合が最も高く、26.4%です。



■ 区民が希望する中区の将来

「中区の将来」を問う設問では、「犯罪や事故が少なく、安心して暮らせる」中区を希望する区民の割合が最も高く、67.6%です。



【前計画におけるKPIの進捗状況】

(単位：%)

分野別要素	指標	前計画策定時 (2019) ※1	2021 ※1	2022 ※1	2023 ※1	現状値 (2024) ※1	目標値 (2025)
子育て	堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	53.0	58.3	43.9	58.4	50.8	63.0
福祉	日頃から診療や相談ができるかかりつけの医師はいますか。 (堺市高齢者等実態調査※2 において「いる」と回答した中区民の割合)	85.6	-	84.7	-	-	90.6
安全	堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	56.7	66.9	64.7	62.8	63.1	66.7
	堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	48.3	56.3	40.4	49.4	46.6	58.3
環境	堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	33.3	44.7	43.3	51.1	45.8	43.3
	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。 (市民意識調査において「積極的に取り組んでいる」「ごみの分別などルールを守っている」と回答した中区民の割合)	79.3	85.7	82.8	85.3	86.3	84.3
歴史文化	堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	61.3	71.0	66.7	72.3	73.5	71.3
	堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	34.2	32.7	32.6	38.1	35.5	44.2
健康	定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の体調をチェックしていますか。 (市民意識調査において「している」と回答した中区民の割合)	70.0	74.3	73.8	79.5	75.0	75.0
	健康や介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり、助けてくれる人が身近にいますか。 (市民意識調査において「いる」と回答した中区民の割合)	55.9	70.9	64.0	70.6	70.4	65.9
交流	堺市は地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域での様々な活動が活発なまちだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	57.1	56.9	52.9	62.7	57.5	67.1

※1 KPIに用いる数値は「堺市市民意識調査」から引用（「2019」は令和元（2019）年度、「2021」は令和3（2021）年度、「2022」は令和4（2022）年度、「2023」は令和5（2023）年度、「2024」は令和6（2024）年度の調査結果を使用。令和2（2020）年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。）

※2 分野別要素「福祉」に係るKPIに用いる数値に限り、「堺市高齢者等実態調査」から引用（堺市高齢者等実態調査は3年に1回の実施。）

第3章：中区のめざす将来像

1. めざす将来像

～みんなが**安心**を感じ、**魅力**をつなぎ、**活力**を生む～
成長の歩みを止めない中区

前計画からのめざす将来像を引き継ぎ、人口減少・高齢化の進行など、厳しい社会情勢の中でも、現状に満足してとどまることなく、昨日より今日を、今日より明日をよりよくするために進み続ける地域をめざします。

2. 区政運営の方向性

～共感と協働で現代から次世代へ～

将来像の実現に向けて、本計画のサブタイトルである「共感と協働」と「現代から次世代へ」という2つの観点と、「広報力の強化」と「組織力の強化」を加えた4つの方向性を念頭に区政運営に取り組みます。

■ 共感と協働

将来像の実現に向けて行政が単独で決定するのではなく、中区に暮らす人たちが地域活動の担い手、民間事業者等と気持ちを合わせ、一緒になって様々な施策を進めます。

■ 現代から次世代へ

現代に受け継がれ、育まれてきた中区の持つ地域資源の魅力や人と人とのつながりをより高めた上で、次世代へ引き継ぎます。

■ 広報力の強化

中区の魅力や取組の発信に当たっては、ICTの活用等により情報を受け取る方に応じた工夫をするなど区役所の「情報発信力」を強化します。また、中区に暮らす人たちの「情報受信力」の強化を支援する取組を行うことで、双方向からの「広報力の強化」を図ります。

■ 組織力の強化

区役所職員の業務遂行に当たり、職員を孤立させず、組織として職員をフォローすることで、職員が一人で抱え込むことなく、パフォーマンスを最大限発揮できるよう、役職や立場、部署間の垣根を越えて活発にコミュニケーションが取れる風通しの良い職場環境の形成を図ります。

第4章：めざす将来像を構成する要素

1. 3つの基本要素

本計画において、中区がめざす将来像を構成する最も基本的な要素として「安心」「魅力」「活力」の3つを定めています。これらが切れめなくつながりながら満たされることで、めざす将来像の実現につながると考えます。

■ 安心

中区に暮らす人たちが、自らの生活の基盤に「安心」感を抱き、安全であることを実感することで、様々な活動に精力的に取り組むことができます。

■ 魅力

中区が有する様々な資源を活用し、中区の「魅力」を情報を受け取る方に合わせた方法でより多くの人に伝えることで、中区に暮らす人は中区民であることを誇りに思い、区外の人は中区を訪れたいと思うようになります。

■ 活力

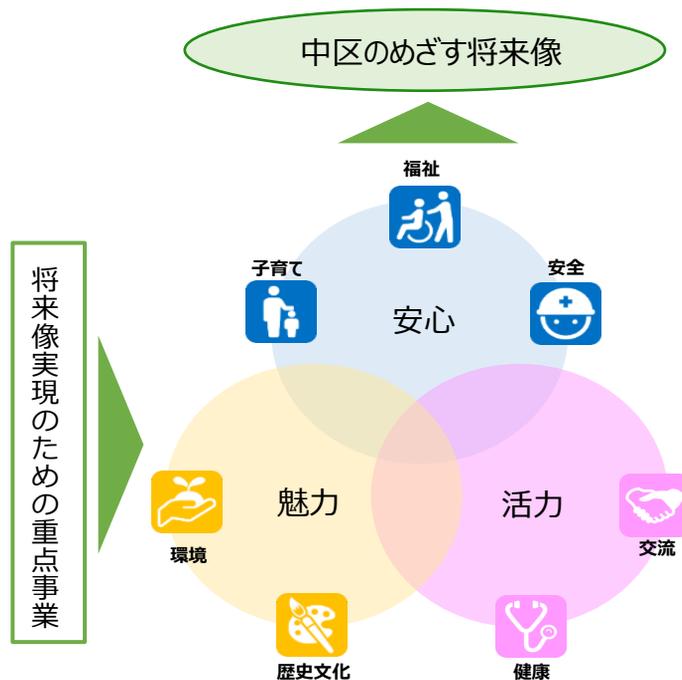
中区に暮らす人たちや地域活動の担い手、民間事業者、行政等が「活力」に満ちあふれ、様々な活動をする中で、中区全体の活性化を図ります。

【将来像構成図】

2. 7つの分野別要素

3つの基本要素の下に、それらを構成する7つの分野別要素を設定し、施策や取組方針などを把握しやすいように分類しています。

なお、各分野別要素は独立したものではなく、相互に関連し、有機的につながることによって各取組を効果的に推進します。



3. KPI（重要業績評価指標）

7つの分野別要素それぞれに対して、定性的・定量的に測れるような次の値を指標として設定します。

- ・市民意識調査における中区在住者の回答（そう思う、ある程度そう思うと回答した人の割合など）
- ・事業実施による達成率、達成値

なお、各指標の目標値は、中区のめざす将来像である「成長の歩みを止めない中区」を踏まえ、「現状値を向上し続ける」観点に基づき設定しています。



将来像実現のための重点事業

■ 深井駅周辺地域活性化事業

中区をすべての世代の人が安心して暮らし続けることができる持続可能な地域とするため、地域拠点である深井駅周辺地域の都市魅力を向上し、更なる都市機能の充実を図り、中区全体へその効果を波及し活性化を図ります。

■ 取組方針

【重点目標①】 水賀池公園整備を第一歩とした都市魅力の向上

- ・ 水賀池公園の機能強化と民間活力の導入により、公園と商業・サービス・居住等が一体となった多様な世代が集い交流する中区の新たなシンボルとなる施設を整備します。
- ・ 府営八田荘住宅建替えに伴う活用地との連携により、深井駅を中心とした東西方向の人の流れを誘引します。
- ・ 地域資源を活用した取組との連携により、深井駅周辺地域の魅力向上を図ります。



効果と課題を見極めた上で対応

【重点目標②】 新たな拠点へのアクセスの向上

- ・ 深井駅周辺地域への交通アクセスの向上を図るため、自転車、バス・鉄道等の公共交通との乗り継ぎを改善し、駅を中心とした交通の利便性を高めます。

【重点目標③】 深井駅周辺の楽しく回遊できる歩行者空間の形成

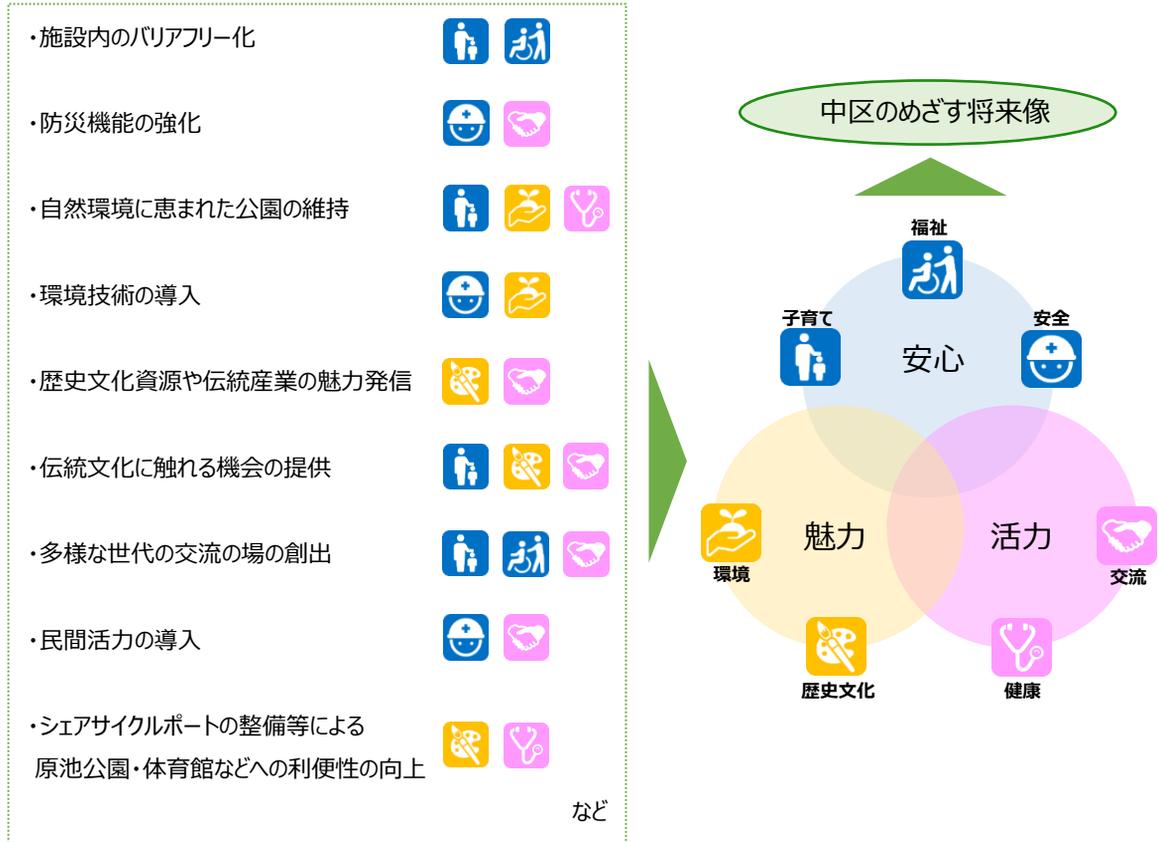
- ・ 深井駅を中心とした東西方向の人の流れを誘引する駅前広場及び周辺道路の良好で魅力ある通行環境を形成します。

■ 分野別の取組

将来像実現のための重点事業を推進することで基本要素及び分野別要素に波及的に効果をもたらし、中区のめざす将来像の実現を図ります。下図はその関連性をイメージしたものです。

【重点事業における取組内容と関連する主な分野別要素】

【関連イメージ図】



KPI（指標）	現状値※	目標値※ （令和12（2030）年度）
水賀池公園の 利用者数の増加	公園利用者数 （令和4（2022）年）： 平日461人/日 休日593人/日 平日・休日平均 約500人	公園利用者数： 平日・休日平均で3倍増加
南海電鉄泉北線深井駅の 乗降客数の伸び率の上昇	平成27（2015）年度 （25,190人/日）から令和元 （2019）年度（26,125人/ 日）の乗降客の伸び率は 0.92%/年	水賀池公園の施設のオープン予 定である令和9（2027）年度 から令和12（2030）年度の乗 降客の伸び率が2割上昇

※深井駅周辺地域活性化事業基本構想及び水賀池公園整備基本計画策定時の数値



中区に暮らす人たちが安心して楽しみながら子育てができる区を実現するため、地域における子育て支援活動を促進し、子育て世代の育児不安を解消します。さらに、こどもが心身ともに健やかに育つよう、妊娠期から子育て期にかけて切れ目のない支援を進めます。これらの施策を推進するに当たり、関係機関との連携を更に進め、相談体制の充実を図ります。あわせて、情報を受け取る方に応じた効果的な方法により情報発信を行います。

■ 子育て世代を地域全体で支援する環境整備

核家族化や地域のつながりの希薄化が進む中、子育てへの不安や負担を保護者だけで抱え込むことがないように、地域全体で子育て世代を見守り、支援する環境整備を推進します。

また、特別な支援を要する様々な課題を抱えるすべてのこども・家庭に適切な支援を行えるように、相談体制の充実を図ります。

主な取組方針

- こども・子育て家庭への支援
- 子育て等に関する相談体制の充実
- 子育て支援ネットワークの拡大・強化



子育てひろば



子育てまっぴ

■ こどもの健やかな育ちの確保

すべてのこどもが心身ともに健やかに成長することができ、豊かな感性や社会性を育むよう支援します。

主な取組方針

- いのちの大切さを伝える取組の推進
- 健康や食に関する知識の普及啓発
- こどもの豊かな感性や創造力の育成



「いのちありがとう」プロジェクトの様子

KPI（指標）	現状値 (令和6（2024）年度）	目標値 (令和12（2030）年度）
堺市は子育てがしやすい都市だと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	50.8%	70.0%
関係機関と連携した数 (中区役所の家庭児童相談員等が子育て家庭への相談・支援のために庁内外の関係機関と連携した数)	延べ 703件	延べ 870件



中区に暮らす人たちがいつまでも、住み慣れた地域社会で自分らしく暮らすためには、日常生活における困りごとを地域で協力して解決できる仕組みが必要です。支援を必要とする人たちのニーズに応じたきめ細かな支援を行うために、地域のつながりを深め、共に支え合って暮らす地域社会を築くための取組を推進します。

■ 高齢者・障害者福祉の充実

高齢者や障害のある人に対する理解を深め、地域や関係機関が連携して効果的な支援を行うことで、高齢者や障害のある人がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みを構築します。

主な取組方針

- 高齢者への相談支援
- 介護予防施策の推進
- 障害及び障害のある人に対する理解の促進



ナカ・ナカマ♡ネットワークの様子

■ セーフティネットの保障と自立支援

生活保護制度等により、生活困窮者に対するセーフティネットを確保しながら、就労支援をはじめとした自立支援プログラムを活用し、様々な関係機関と連携しながら生活保護受給者等の生活困窮者の経済的・社会的自立を支援します。

また、様々な依存症の影響で健全な社会生活を阻害されている人たちの回復を支援します。

なお、これらの取組に当たり、不当要求や強要等には毅然とした態度で対応し、適正に業務を実施します。

主な取組方針

- 生活困窮者に対する安定した生活の保障
- 就労を通じた自立への支援
- 様々な依存症からの回復の支援



生活保護のしおりと中高生向け未来応援BOOK

KPI（指標）	現状値 (令和6（2024）年度）	目標値 (令和12（2030）年度）
健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり、助けてくれる人が身近にいますか。 (市民意識調査において「いる」と回答した中区民の割合)	70.4%	78.0%
高齢者総合相談件数 (高齢者やその家族、地域住民や関係機関からの相談件数)	延べ 14,671件	延べ 16,000件

中区に暮らす人たちが自らの生活の基盤に安心感を抱くことができるよう、災害に強く、犯罪が起こりにくい環境の整備を行います。また、自身や大切な人を守り、もしもの際には互いに助け合うことができるよう、正しい知識と行動を身に付けるための取組を行います。

■ 地域防災力の向上

「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災意識と地域の連帯感の醸成につながる取組を支援します。また、災害時において自助、共助及び公助の取組を着実に実施できるよう体制を整備します。

主な取組方針

- 自主防災訓練と地区防災計画策定への支援
- 防災知識と適切な行動の周知啓発の推進
- 危機事象発生時における区役所業務継続体制の構築



防災研修会の様子

■ 犯罪が起こりにくい安全で安心な地域社会の実現

警察等の関係機関との連携を一層強化し、特殊詐欺を含む各種犯罪の発生を未然に防止するための環境整備とその充実を効果的に推進します。また、中区に暮らす人たちの防犯意識の向上を図る取組を進めます。あわせて、これら取組の推進に当たっては、防犯に関する内容について情報を受け取る方に応じた効果的な情報発信を行います。

主な取組方針

- 地域における安全を支える環境整備
- 地域の防犯意識の醸成
- 特殊詐欺被害撲滅に向けた取組の推進



特殊詐欺被害防止の啓発の様子

KPI（指標）	現状値 (令和6（2024）年度）	目標値 (令和12（2030）年度）
堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせる都市だと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	63.1%	70.2%
地区防災計画策定校区数 (中区防災まちづくり事業において地区防災計画を策定した校区の数)	6校区	13校区 (中区全小学校区)
堺市は治安に関する不安が少ない都市だと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	46.6%	61.3%
大阪重点犯罪認知件数 (中区における大阪重点犯罪（性犯罪、特殊詐欺、自動車関連犯罪の合計）の件数)	137件	119件



中区の有する緑あふれる自然環境を貴重な資源として守り、次世代へ引き継ぐための取組を推進します。また、中区に暮らす人たちの環境問題に対する意識の改革と行動の変容に向けた取組を行います。

■ 緑あふれる美しい街並みの継承

中区に暮らす人たちが自らの地域に愛着と誇りを持てるよう、花と緑にあふれた美しい地域の創造に向けた活動を支援し、清潔で潤いのある良好な景観の形成を推進します。

主な取組方針

- 地域に根ざした花と緑の保全活動の推進
- ごみの減量と不法投棄のない地域の実現
- 良好な景観の維持



中区花いっぱい魅力創造まちづくり事業の様子

■ 持続可能な地域社会の実現

区役所において省エネルギー化・省資源化を積極的に推進します。また、中区が有する豊かな自然環境と生態系の価値について広く周知を図り、その保全に向けた意識の醸成と地域全体の取組の機運を高めます。

主な取組方針

- 地球（環境）にやさしい区役所の推進
- 環境問題に関する啓発の推進
- 生態系保全について考える機会の提供



生態系保全啓発事業の様子

KPI（指標）	現状値 (令和6（2024）年度)	目標値 (令和12（2030）年度)
あなたのお住まいの地域は緑豊かだと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	55.2%	64.4%
花苗配付株数 (中区花いっぱい魅力創造まちづくり事業において地域に配付した花苗の株数)	5,301株	5年間延べ 25,000株
ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。 (市民意識調査において「積極的に取り組んでいる」「ごみの分別などルールを守っている」と回答した中区民の割合)	86.3%	93.9%
不法投棄の年間処理量 (日々のパトロールで回収した中区内の不法投棄の処理量)	4,460kg	4,014kg



中区に古くから伝わる伝統産業や歴史的施設等の貴重な地域資源の素晴らしさを広めることで、地域への愛着を深め、途切れさせることなく次世代へ引き継ぎます。また、文化芸術の振興を行うことで豊かな感性を育み、相互に理解し尊重し合うことができる地域をめざします。

■ 歴史的な魅力の継承

中区が有する伝統産業や地域資源の価値を中区に暮らす人たちに改めて認識してもらい、貴重な資源の素晴らしさを次世代へ引き継ぎます。また、これらの魅力を積極的に発信することで、区内だけでなく区外の人が中区に興味・関心を持つきっかけとします。

主な取組方針

- 伝統産業の活性化・認知度の向上
- 地域資源の魅力発信
- 歴史的施設を活用した魅力創出



行基が建立した土塔



注染・和晒

■ 文化・芸術活動の振興

中区に暮らす人たちが身近な場で文化や芸術に触れる機会を提供することで、豊かな感性を育み、文化に親しみ、文化を大切にする地域をめざします。

主な取組方針

- 文化芸術に触れる機会の創出
- 文化的施設の魅力発信
- 文化活動を通じた交流の促進



文化のつどいの様子

KPI (指標)	現状値	目標値 (令和12(2030)年度)
堺市は歴史文化資源を身近に感じることができる都市だと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	73.5% (令和6(2024)年度)	81.0%
注染イベントの参加者数 (中区魅力発信事業において開催した注染に関するイベントの参加者数)	1,611人 (令和7(2025)年度)	2,000人
文化芸術を鑑賞した又は文化芸術活動を行ったと答えた人の割合(概ね1年以内) (市民意識調査において「行った」と回答した中区民の割合(現状値は市政モニターアンケートの回答結果から引用))	44.1% (令和7(2025)年度)	60.0%
文化のつどい参加サークル数 (中区文化のつどい事業において文化のつどいに参加するサークルの数)	37サークル (令和6(2024)年度)	41サークル



中区に暮らす人たちがいくつになっても心身ともに健康で充実した生活を送るためには、各々が主体的に健康的な生活習慣の改善に努め、地域社会全体で協働しながら健康増進に取り組むことが大切です。

妊娠期から子育て、そして中高年期まで人生の様々な段階に応じた啓発活動、健康教育、地域の人々の健康増進の輪の拡大により、健康寿命の延伸をめざします。

■ 健康増進に向けた取組の支援

中区に暮らす人たちが、自身に合わせた健康増進に関する情報を、随時適切に得られ、主体的に健康の増進及び生活習慣の改善に取り組むことができるように支援します。

主な取組方針

- がんをはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防の啓発
- 生涯にわたる食育の推進
- 生涯にわたる歯と口の健康の推進



乳がん検診の啓発の様子

■ 健康を支える環境の整備

健康的な生活習慣を実践できる環境整備を進めるため、区役所と保健医療機関が連携し、検診や相談に関する取組を推進します。

また、健康づくり自主活動グループをはじめとする様々な団体と連携し、地域の人々の健康増進の輪を広げます。

主な取組方針

- 健（検）診受診率向上のための体制整備
- 各種健康相談の機会の提供
- 健康づくり自主活動グループの活動支援



健康相談会の様子

KPI（指標）	現状値 (令和6（2024）年度）	目標値 (令和12（2030）年度）
定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。 (市民意識調査において「している」と回答した中区民の割合)	75.0%	85.2%
特定健康診査を受診していますか。(対象：40歳～74歳) (市民意識調査において「受診している」と回答した中区民の割合)	73.0%	81.0%



交流

関連するSDGsのゴール



地域コミュニティの活力を高めるために、中区に暮らす人たちや地域活動の担い手、民間事業者、行政等の多様な主体が垣根を越えて交流し、互いの想いや力を活かし合うことで、連携と協働の輪を広げます。また、より多くの方に地域活動の魅力が伝わるように、情報を受け取る方に応じた効果的な情報発信を行います。こうしたつながりを土台に、誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える、魅力あふれる区の実現をめざします。

■ 地域をつなぐ連携と協働の推進

区役所は、中区に暮らす人たちにとって身近で頼れる存在となり、地域に関わる多様な主体間の連携・協働を促進します。また、中区に暮らす人たちや地域活動の担い手、民間事業者、行政等が互いに理解し、協力し合える関係を築くことで、地域のつながりを強化し、各主体間で支え合える地域社会を形成します。

主な取組方針

- より身近で頼れる区役所の実現
- 世代を超えた交流の促進
- 多様な主体間のつながりの強化



中区区民フェスタの様子

■ 地域課題解決力の強化

地域が自らの課題を主体的に解決できるよう、自治会などの地域活動団体の取組を支援します。また、地域に関わる多様な人々が交流し、知恵や経験を出し合いながらより良い関係を築くことで、協力して課題に取り組む力を高めます。

主な取組方針

- 自治会活動の促進
- 地域活動団体の活動支援
- 地域の声をより細かに反映できる体制の充実



校区運動会の様子

KPI（指標）	現状値	目標値 (令和12(2030)年度)
堺市は地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発な都市だと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)	57.5% (令和6(2024)年度)	68.1%
自治会加入率 (中区自治連合協議会に属する単位自治会に加入している世帯数の割合)	33.6% (令和7(2025)年度)	現状値以上

第5章：推進体制

1. 実施体制

中区地域計画と中区のめざす将来像を、中區に暮らす人たちが地域活動の担い手、民間事業者、行政等の多様な主体が共有します。それぞれが自らの役割を果たし、時には協働し助け合いながら、区全体で一つとなって10年後の将来像の実現をめざします。

【実施体制イメージ図】

- ・地域活動について理解を深める
- ・地域活動への積極的な参加
- ・地域への関心・興味を持つ
- ・市政への積極的な参画
- ・地域魅力の共有と外部への発信



中區に暮らす人たち

- ・地域課題の解決
- ・地域におけるつながりの拡充
- ・行政との連携強化
- ・地域内の情報の共有と外部への発信



地域活動の担い手

めざす将来像 の共有

民間事業者



- ・将来像実現に寄与する事業活動
- ・地域に密着した事業活動
- ・得意分野を活かした地域貢献
- ・公民連携の推進

行政



- ・施策・事業の実施
- ・地域活動の支援
- ・地域間交流の促進
- ・区政に係る情報発信
- ・相談窓口の充実

2. 管理体制

■ 中区地域計画評価の方法

本計画全体の達成度については、中區に暮らす人たちの意識の変化や、各種統計資料による数値の変化、行政内部での個別事業の検証結果などを組み合わせて、総合的に評価します。

【評価の方法イメージ図】

中区地域計画の達成度評価

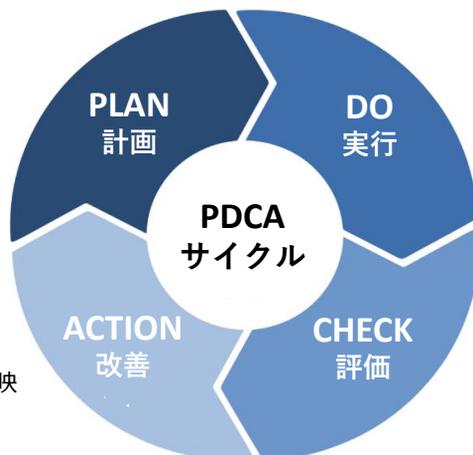


■ 個別事業の管理

中區のめざす将来像を構成する要素を具体化する個別の事業は、PDCAマネジメントサイクルを用いて年度ごとに検証を行い、随時必要な見直しを行うことで、より効果的に事業を実施します。

01 PLAN (計画)

- ニーズの把握・分析
- 事業計画、指標の設定



02 DO (実行)

- 各事業の実施

04 ACTION (改善)

- 改善案の検討
- 翌年度事業計画への反映

03 CHECK (評価)

- 各事業結果の評価・分析

1. 用語解説（掲載順）

用語	掲載頁	説明
SNS	P 1	Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略で、インターネット上で人とつながり、情報交換やコミュニケーションを行うサービスのことです。
SDGs	P 2	平成13（2001）年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、平成27（2015）年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、令和12（2030）年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本も積極的に取り組んでいます。
SDGs未来都市	P 2	SDGs未来都市とは、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるものを言います。
区役所と本庁のあり方基本方針	P 2	区役所が将来にわたって持続的に区政を推進できるよう、区役所と本庁の役割分担を踏まえて、今後の区役所に求められる機能を整理したものです。
行基	P 3	河内国大鳥郡（現在の堺市）に生まれた行基は、奈良時代の僧侶で、数々の社会事業を行いました。奈良時代に建立した「土塔」は、地域の信仰と学びの場となりました。さらに、橋やため池など社会インフラの整備を行い、住民の生活向上に大きく貢献しました。
セーフティネット	P 6	経済的なリスクが発生した際に、生活や事業の安全や安心を確保するための仕組みの総称です。
自主防災訓練	P 7	自主防災訓練は、地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、自主的に結成された自主防災組織によって実施されるものです。中区では、全13の小学校区において自主防災組織が結成されており、各校区で避難所の運営やマンホールトイレの設置など、災害時の被害を予防・軽減するための実践的な訓練が行われています。
地区防災計画	P17	地域住民や事業者が主体となり、地域特性等を踏まえて自主的な防災活動を整理した計画です。策定を通じて地域の防災力を高め、堺市の地域防災計画と連携することで、行政の迅速・適切な対応につながり、市全体の防災力向上にも寄与するものです。

2. SDGsのゴール

国際社会では平成27（2015）年9月に国連サミットにおいてSDGsが採択され、その実現に向けた取組が広がっています。堺市は平成30（2018）年6月にSDGs未来都市として選定されており、全人類の共通の目標達成への貢献がより強く期待されています。中区でもこれらのゴールを意識し、各分野の取組を推進します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



3. 策定経過

中区地域計画の策定に当たり、中区域内で市が実施する施策等について、区民等その他有識者から意見を聴取する中区政策会議を開催しました。

また、中区地域計画の策定に当たり、区民の考えやその傾向を把握し、今後の区政運営の参考とするため、中区区民アンケートを実施しました。

さらに、令和7（2025）年12月22日から令和8（2026）年1月21日にかけて、区民の皆様から広く意見を募集し、貴重なご意見を多数いただきました。

【堺市中区政策会議】

開催	内容
令和6（2024）年度 第2回 （令和7（2025）年2月12日）	堺市中区地域計画の振り返りと改定の方向性について
令和7（2025）年度 第1回 （令和7（2025）年5月27日）	次期堺市中区地域計画（骨子案策定に向けての考え方）について
令和7（2025）年度 第2回 （令和7（2025）年9月29日）	次期堺市中区地域計画（計画案策定に向けての考え方）について

【中区区民アンケート結果概要】

中区区民
アンケート
結果▶



調査対象	調査期間	回答状況
区内在住の方 （年齢制限なし）	令和7（2025）年 5月23日 ～ 令和7（2025）年 6月30日	969件 ・電子申請システム735件 ・アンケート用紙（区役所・公共施設での配架等）234件

【意見募集】

意見募集期間	提出状況
令和7（2025）年12月22日～令和8（2026）年1月21日	提出者数 11人・意見件数 11件

※募集期間中は、広報紙への掲載や計画案の公共施設等への配架、中区自治連合協議会などへの説明により、広く区民の皆様へ計画案の周知を図りました。

※ご意見の概要とそれに対する市（区）の考え方は堺市HP（中区HP）に掲載しています。



堺市中区地域計画2026→2030

令和8（2026）年3月発行

編集・発行 堺市中区役所企画総務課
〒599-8236
堺市中区深井沢町2470番地7
TEL：072-270-8181
FAX：072-270-8101
URL：<https://www.city.sakai.lg.jp/naka/index.html>



堺市配架資料番号
1-C2-26-0027



Aランク資材のみ使用
印刷用の紙にリサイクルできます